

2010年3月期 第3四半期決算補足資料
2010年3月期業績予想

2010/01/26

 株式会社日立ハイテクノロジーズ

2010年3月期第3四半期決算補足資料

I 2010年3月期第3四半期決算 業績ハイライト

II 2010年3月期 業績予想

III 参考:データ集

(億円)

	当期累計 実績	第3四半期 実績	当期累計実績 前年同期比		第3四半期 前年同期比	
			増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	4,268	1,451	△1,598	△27%	△182	△11%
営業利益	△72	4	△221	—	△19	△83%
経常利益	△62	8	△231	—	△22	△73%
当期利益	△56	△3	△151	—	△23	—
一株利益*	△40円74銭		△110円08銭		—	
一株純資産*	1,643円54銭		△75円12銭		—	

*当期累計実績

(億円)

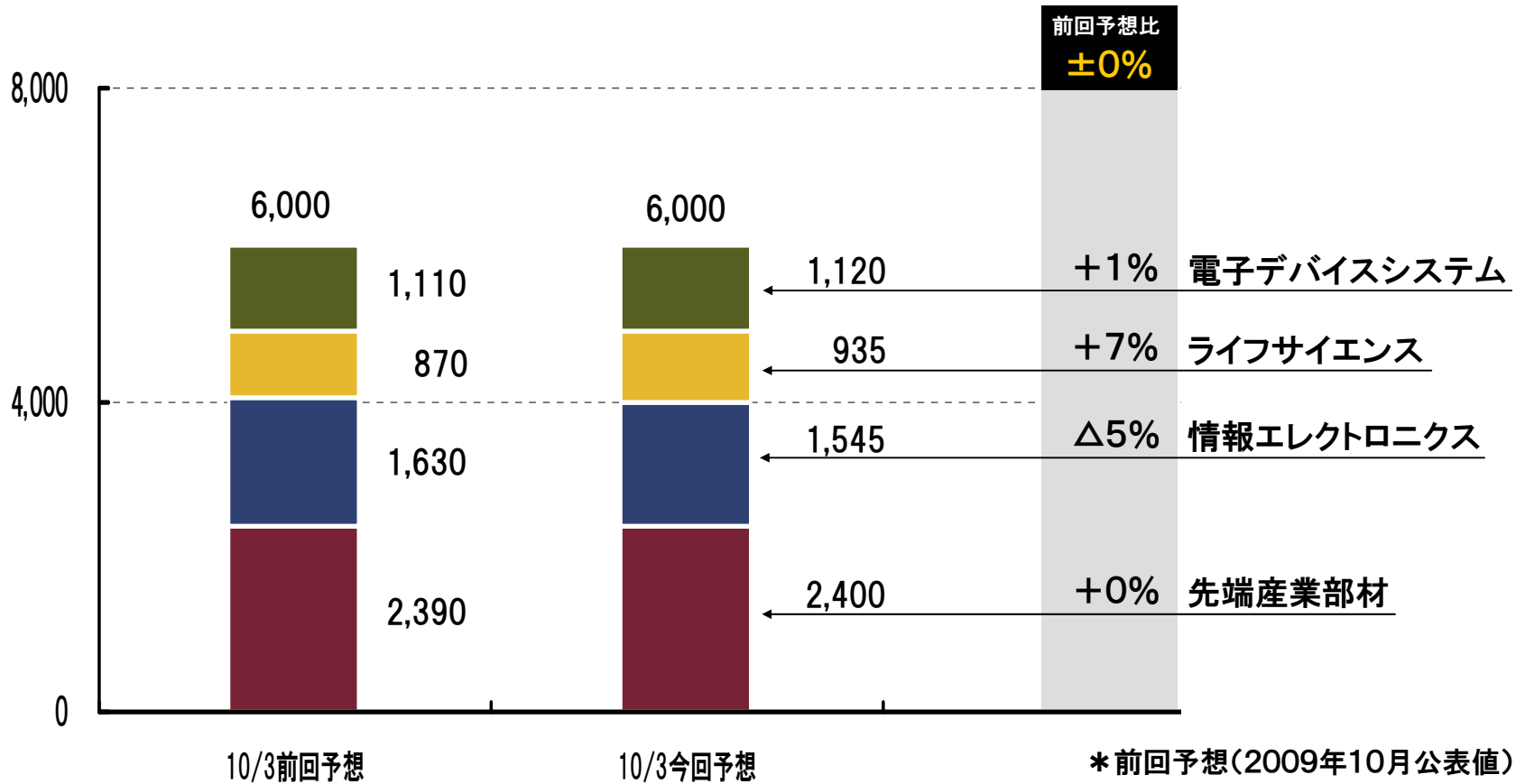
	今回予想	前年同期比		前回予想比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	6,000	△1,750	△23%	±0	±0%
営業利益	△53	△202	—	+13	—
経常利益	△45	△210	—	+15	—
当期利益	△53	△124	—	+10	—
一株利益	△38円53銭	△89円97銭		+7円27銭	
一株配当	10円00銭	△20円00銭		±00円00銭	

(注)09/4Q想定レート: 1USD= 85円
1EUR=125円

* 前回予想(2009年10月公表値)

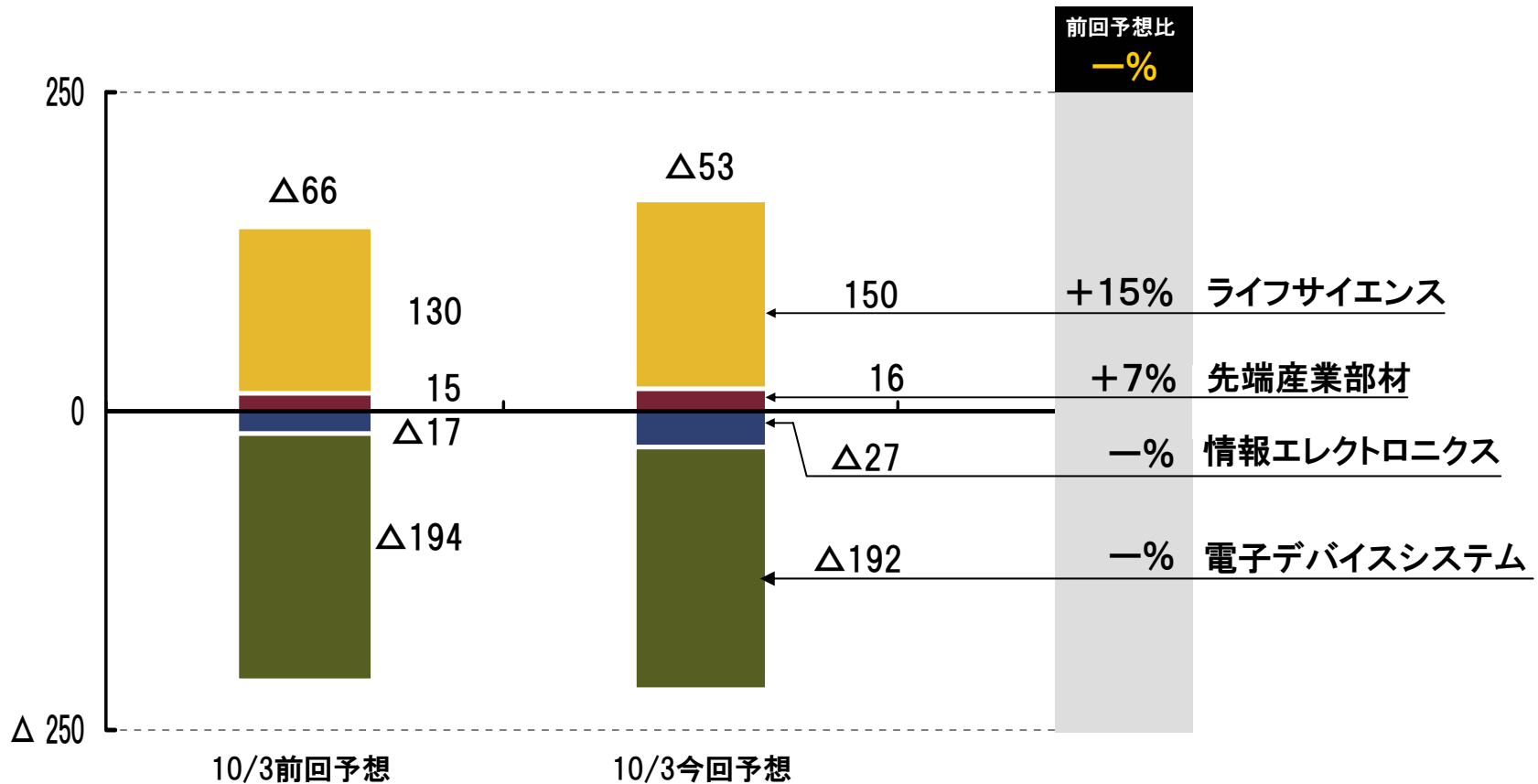
売上高

(億円)



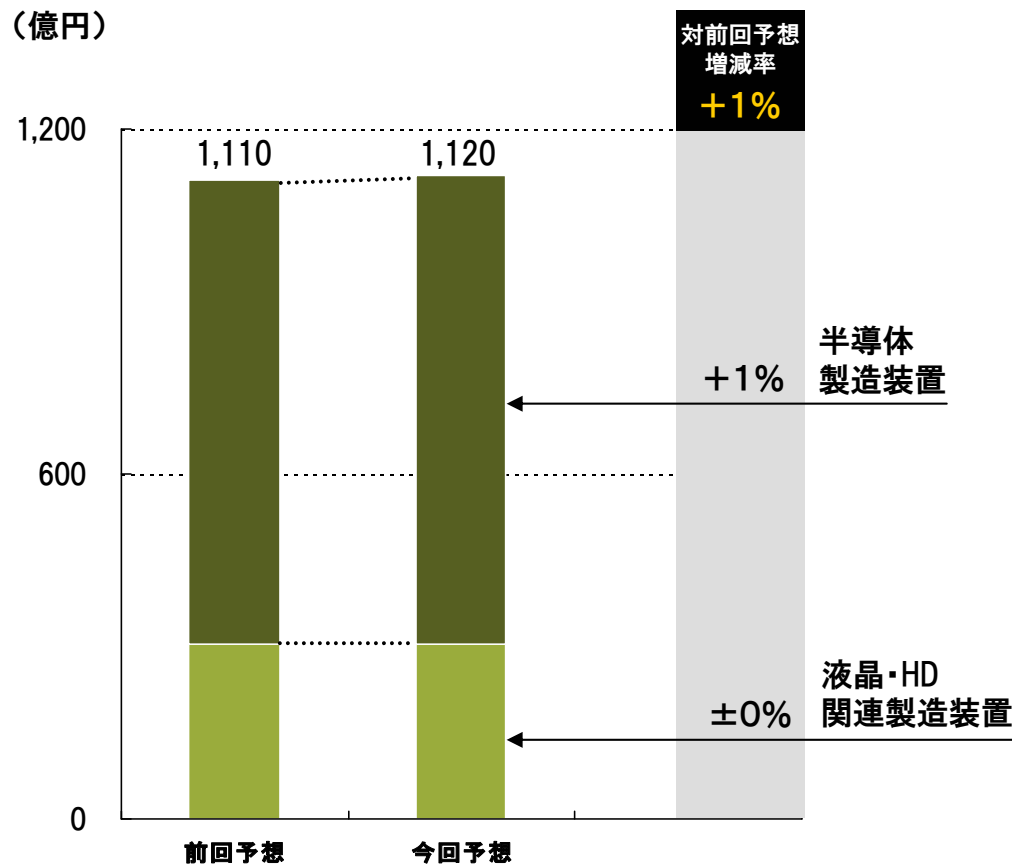
営業利益

(億円)



売上高

主な偏差要因



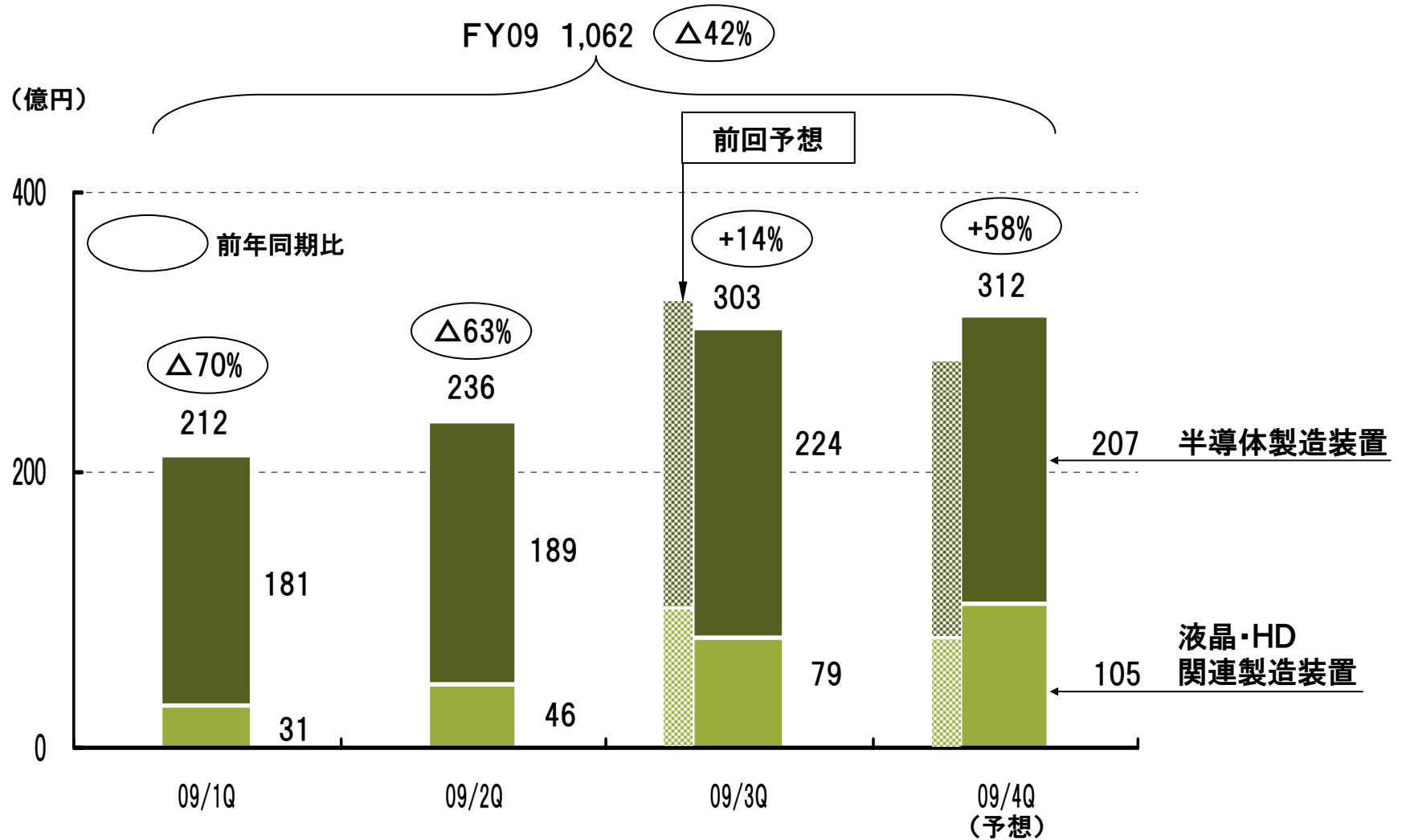
■ 半導体製造装置

- ・プロセス製造装置は、主要メーカーの投資遅延等により売上減
- ・評価装置は、大手ファウンドリーやメモリーメーカーの微細化を中心とした投資再開により売上増
- ・解析装置は、補正予算案件は確保するも、民間需要低迷の長期化により売上減

■ 液晶・HD関連製造装置

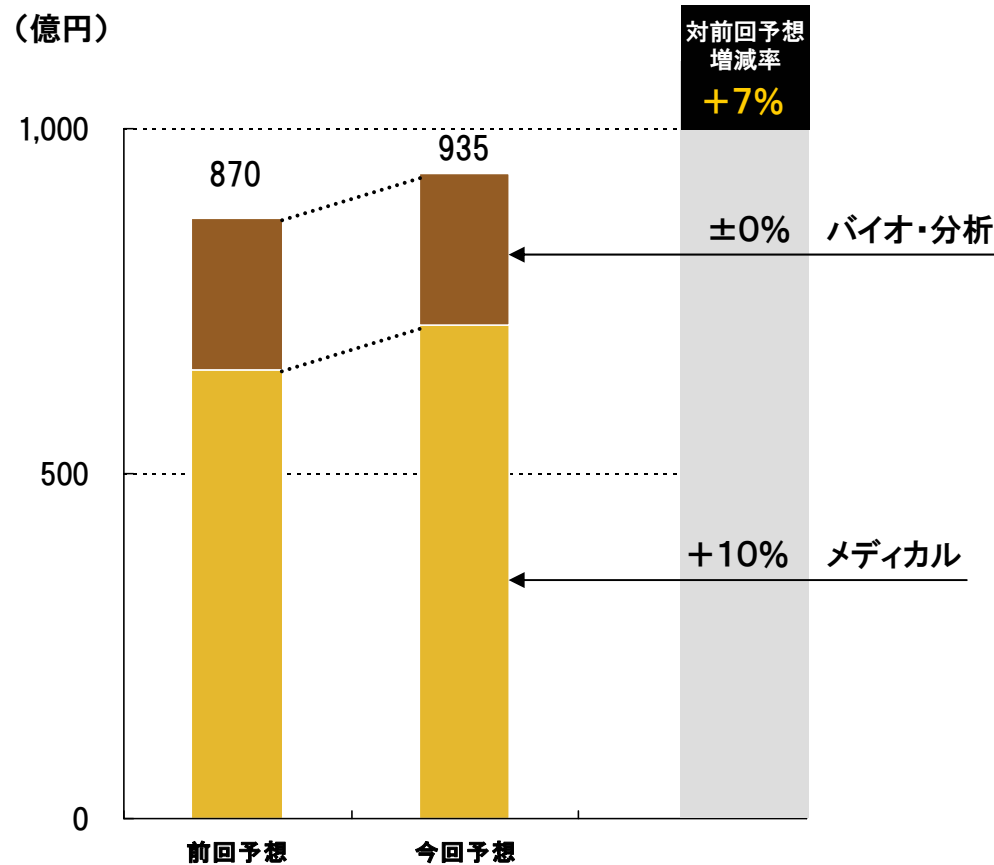
- ・液晶関連製造装置は、日本・台湾メーカー向け案件を中心に、売上はほぼ計画通り
- ・HD関連製造装置は、ディスク及びガラス基板を中心とした主要メーカーの投資回復への動きはあるものの、今期への貢献は少なく、売上はほぼ計画通り

受注高



売上高

主な偏差要因



■ バイオ・分析

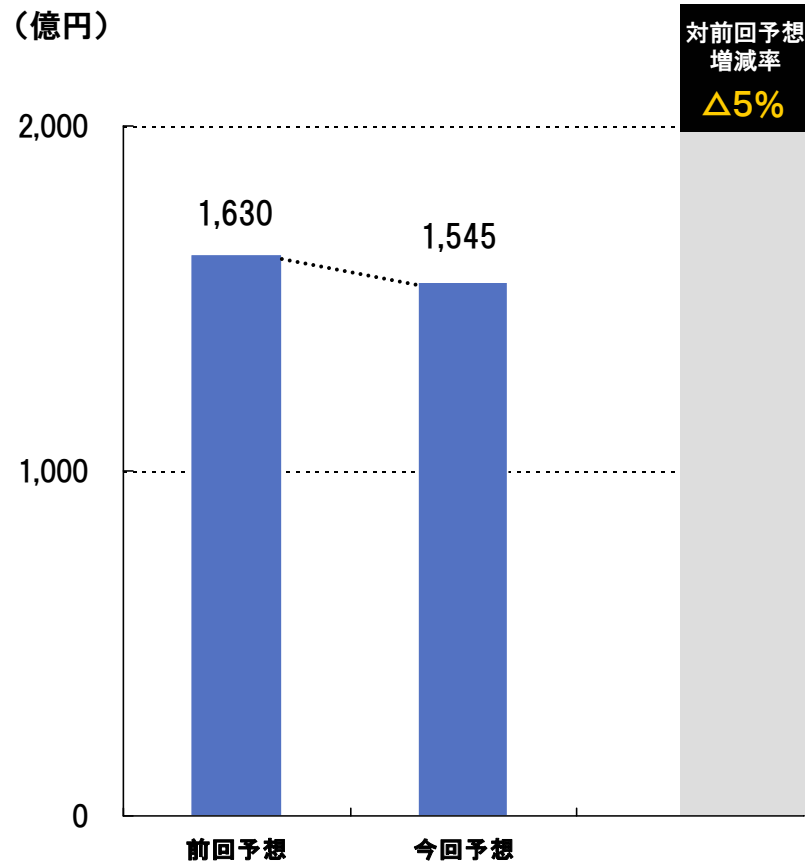
- ・DNAシーケンサは、新製品の投入により売上はほぼ計画通り
- ・汎用分析機器は、民間需要の低迷は継続するも、補正予算案件確保により売上はほぼ計画通り

■ メディカル

- ・新大型生化学・免疫分析装置の投入及び、検体前処理システムの販売好調等により売上増

売上高

主な偏差要因

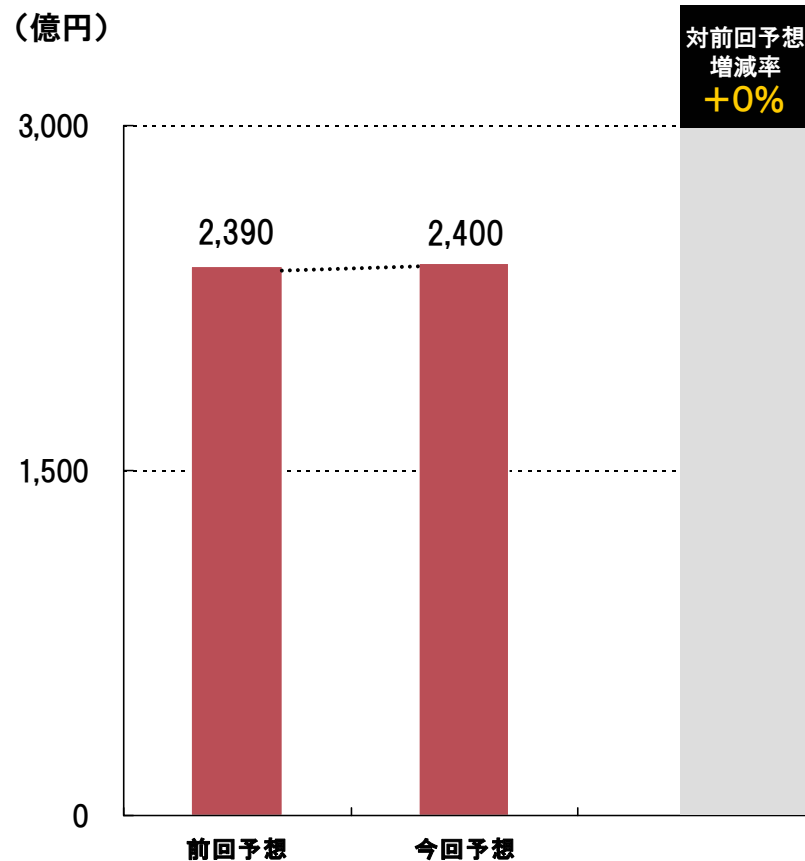


■ 情報エレクトロニクス

- ・米国向け携帯電話端末は、現行モデルの需要減少により売上減
- ・自動組立装置は、LIB関連顧客の導入延期により売上減
- ・HDDは、エコカー減税による車載用途の好調等により売上増
- ・チップマウンタは、日欧米大手EMS等の投資凍結が継続するも、中国・アジアでは需要が回復、売上はほぼ計画通り

売上高

主な偏差要因



■ 先端産業部材

- ・工業材料・部材等は、一部商材の立ち上がり遅れはあるものの、自動車関連部材など全般的に景気回復による需要増により、売上はほぼ計画通り
- ・シリコンウェーハや液晶関連部材は、顧客増産により売上増
- ・光関連部材は、プロジェクター用光学部品の需要回復等により、売上はほぼ計画通り

(億円)

	08年1Q	08年2Q	08年3Q	08年4Q	09年1Q	09年2Q	09年3Q
売上高	1,829	2,404	1,633	1,883	1,325	1,492	1,451
営業利益	19	106	23	1	△38	△38	4
経常利益	26	113	30	△4	△32	△37	8
当期利益	△2	78	20	△25	△20	△33	△3

■セグメント別売上高

(億円)

	08年1Q	08年2Q	08年3Q	08年4Q	09年1Q	09年2Q	09年3Q
電子デバイスシステム	250	612	327	494	200	233	238
ライフサイエンス	248	243	213	273	207	233	217
情報エレクトロニクス	443	616	420	558	352	398	384
先端産業部材	888	933	673	558	566	628	613

Ⅲ

主要製品群別売上高の状況

(億円)

	08年1Q	08年2Q	08年3Q	08年4Q	09年1Q	09年2Q	09年3Q
電子デバイスシステム	250	612	327	494	200	233	238
プロセス装置	83	206	141	103	64	34	55
評価・解析装置	94	187	77	162	61	114	100
液晶関連製造装置	22	116	64	190	41	31	33
HD関連製造装置	4	28	8	8	4	2	4
その他	47	76	37	31	31	52	45
ライフサイエンス	248	243	213	273	207	234	217
バイオ・分析	40	53	36	67	37	53	49
メディカル	189	177	154	190	158	181	160
その他	19	13	22	16	13	0	8
情報エレクトロニクス	443	616	420	558	352	397	384
情報システム	149	309	203	314	178	193	169
組立装置	50	94	32	79	23	42	33
半導体	85	83	40	57	40	44	55
メディアデバイス	68	56	38	42	41	54	36
その他	91	74	107	65	69	65	91
先端産業部材	888	933	673	558	566	628	613
工業材料	421	478	340	278	265	285	310
電子デバイス材料	240	224	137	106	139	126	146
光関連部材	74	81	62	70	65	96	101
その他	153	150	134	105	96	120	56

<資料取り扱い上の注意>

- ① 本プレゼンテーションで述べられている決算概要及び業績予想は、注記がある場合を除き、すべて連結です。
- ② 数値情報は、億円未満を四捨五入しています。
- ③ 増減率は、基本的に円単位で計算しています。
- ④ 本プレゼンテーションで述べられている将来の当社業績に関する予想は、現時点で知りうる情報をもとに策定されたものです。当社の参画する産業界はテクノロジーの変化が速く、競争の激しい産業です。また、世界経済、半導体市況、為替相場など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、今後、当社の業績が本プレゼンテーションと異なる可能性があることをお含みおさください。但し、大きな変動がある場合は、証券取引所の適時開示規則及び当社の自発的判断等に基づき、その都度公表していく所存です。

また、この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

END

2010年3月期 第3四半期決算補足資料

お問合せ先
社長室 広報・IRグループ 部長代理 加藤 弘之
TEL:03-3504-5138 FAX:03-3504-5943
E-mail:kato-hiroyuki@nst.hitachi-hitec.com

日立ハイテク

最先端を、最前線へ。